

鳥取大学陸上競技部規約

第1章 総則

(名称および事務所)

第1条 本競技部を鳥取大学陸上競技部と称し、事務所を鳥取大学内(鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101)に置く。

(目的)

第2条 本競技部は、陸上競技の技能の向上を図り、学生競技者精神の高揚と、部員相互の親睦を深めることを目的とする。

(活動)

第3条 本競技部は、前条の目的を達成するために、次の活動を行う。

- (1) 本学の各学部長に対し、団体の設立を届け、学部長を経て学長に届け出、大学が行う事業に参加、もしくは、これらに協力する。
- (2) 年間計画に基づき、合同練習、合宿練習等を行う。
- (3) 日本学生陸上競技連合ならびに中国四国学生陸上競技連盟に加盟するとともに、これらの団体が行う事業に参加、もしくは、協力する。
- (4) 対抗競技会、各種記録会を開催し、もしくは、これらに参加する。
- (5) 陸上競技に関する研究会、講習会等を開催、もしくは、これらに参加する。
- (6) 入部式、送別会、各種代表選手激励会を行う。
- (7) その他、本競技部の目的達成に必要な一切の活動を行う。

第2章 組織

(組織)

第4条 本競技部は、短距離・ハードル、中距離、長距離、跳躍、投てきの5競技ブロックをもって組織する。

- 2 本競技部は、第1項の他に駅伝競走チームを設ける。

(新たなチームの設置)

第5条 本競技部は、必要に応じて、新たなチームを設けることができる。

- 2 新たなチームの設置は役員会の議を経て部員総会において決定する。

第3章 部員の資格および義務

(部員の資格)

第6条 本競技部に入部できる者は、本学学生にして第2条の目的に賛同する者とする。

(入部の手続き)

第7条 本競技部に入部を希望する者は、所定の様式により入部届を提出し、

部長の承認を得るものとする。

(退部の手続き)

第8条 本競技部に退部を希望する者は、所定の様式により退部届を提出し、部長の承認を得るものとする。

(部員の義務)

第9条 部員は、本規約を遵守するとともに、定められた入部金、部費等を納入しなければならない。

第4章 役員

(役員)

第10条 本競技部に次の役員を置く。

- | | | | |
|---------|-----|-----------|-----|
| (1) 部長 | 1名 | (7) 会計 | 1名 |
| (2) 顧問 | 若干名 | (8) ブロック長 | 5名 |
| (3) 監督 | 1名 | (9) チーム代表 | 若干名 |
| (4) コーチ | 若干名 | (10) 副主務 | 若干名 |
| (5) 主将 | 1名 | (11) 学年代表 | 若干名 |
| (6) 主務 | 1名 | | |

(役員を選任と職務)

第11条 部長は、本学教官中より役員会の議を経て部員総会において推挙する。

2 部長は、本競技部の活動を統括するとともに、本競技部を代表する。

第12条 監督は、本学教官中より役員会の議を経て部員総会において推挙する。

2 監督は、本競技部の活動を指導するとともに、これを監督する。

第13条 コーチは、部長、監督、主将、主務の合議により推挙する。

2 コーチは、主として担当するブロックの活動を指導する。

第14条 本競技部に顧問を置くことができる。

顧問は、部長の推薦を経て役員会において推挙する。

2 顧問は、本競技部の重要事項について部長の諮問に応じる。

第15条 主将は、次年度の3年生中より部員総会において選出し、部長の承認を得て決定する。

2 主将は、部員の活動を統括するとともに、部員を代表する。

第16条 主務は、原則として前年度の副主務の中から部員総会において選出し、部長の承認を得て決定する。

2 主務は、主将を補佐し、本競技部の業務を担当する。

第17条 会計は、原則として前年度の副主務の中から部員総会において選出し、部長の承認を得て決定する。

第18条 ブロック長は、各ブロックにおいて1名選出する。

2 ブロック長は、ブロック内を統括するとともに、ブロック員を代表する。

第19条 チーム代表は、チーム内において1名選出する。

2 チーム代表は、チーム内の活動を統括するとともに、チームを代表する。

第20条 副主務は、次年度の2年生中より学年会の議を経て部員総会において選出する。

2 副主務は、主務を補佐する。

第21条 学年代表は、各学年部員中よりそれぞれ選出する。

2 学年代表は、役員会に当該学年の意思を反映させる。

(役員の任期)

第22条 部長、顧問、監督、コーチの任期は、2か年とし、それぞれの任期は、会計年度に準ずる。

なお、留任は妨げない。

第23条 主将、主務、会計、ブロック長、チーム代表、副主務、学年代表の任期は、1か年とし、それぞれの任期は会計年度に準ずる。

(役員の補充)

第24条 役員に欠員が生じた場合は、当該役員の選出方法に基づき補充することができる。

2 補欠により選任された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員の任免)

第25条 役員の任免は、部長が行う。

(役員の報酬)

第26条 役員は、本競技部の業務に関し、報酬を受けることができない。

(学生連盟役員)

第27条 中国四国学生陸上競技連盟に派遣する学生役員（候補者）は、役員会において選出する。

任期および期間は、当該連盟の定めるところによる。

第5章 会議

(会議の種類)

第28条 本競技部に次の会議を置く。

(1) 部員総会

(2) 役員会

(3) コーチ会議

(4) 学生役員会

(5) 学年会

(6) その他の会議

(部員総会)

第29条 部員総会は、本競技部の最高議決機関とし、毎年春季および秋季に行い、主将がこれを召集するとともに、次の事項を付議するものとする。

- (1) 事業計画
 - (2) 予算
 - (3) 事業報告
 - (4) 決算報告
 - (5) 役員の選出
 - (6) 規約・細則等の制定および改廃
 - (7) その他本競技部の重要事項
- (臨時部員総会)

第30条 前条の規定にかかわらず、部長が必要を認めた場合、または、部員の3分の1以上の書面による要求があった場合主将は、臨時部員総会を召集しなければならない。

- 2 臨時部員総会は、要求のあった日から30日以内に開催しなければならない。

(部員総会の通知、成立、議決、議長)

第31条 部員総会の召集は、原則として1週間前までに、会議に付議すべき事項、日時および場所を記載した書面を掲示しなければならない。

- 2 部員総会に出席できない者は、所定の様式により欠席届を提出し、主将の承認を得なければならない。
- 3 部員総会は、部員の3分の2以上の出席をもって成立する。
- 4 部員総会の議決は、出席部員の過半数の同意を必要とする。
- 5 部員総会の議長は、主将とする。

第32条 役員会は、部長、監督、コーチ、主将、主務、会計、ブロック長、チーム代表によって構成する。

- 2 役員会は、部長が、必要に応じて召集するとともに、次の事項を付議する。

- (1) 事業計画案
- (2) 予算案
- (3) 事業報告
- (4) 決算報告
- (5) 規約・細則等の制定および改廃案
- (6) 代表選手選考
- (7) その他本競技部の重要事項

(役員会の通知、成立、議決、議長)

第33条 役員会の召集は、原則として1週間前までに会議に付議すべき事項、日時および場所を記載した書面をもって通知する。

- 2 役員会は、構成員の3分の2以上の出席により成立する。

3 役員会の議決は、出席部員の過半数の同意を必要とする。

4 役員会の議長は、部長とする。

(コーチ会議)

第34条 コーチ会議は、監督、コーチによって構成する。

(コーチ会議の通知、成立、議長)

第35条 コーチ会議は、本競技部活動に関する指導について協議する。

2 コーチ会議の召集は、原則として1週間前までに会議に付議すべき事項、日時および場所を記載した書面をもって通知する。

3 コーチ会議は、構成員の3分の2以上の出席により成立する。

4 コーチ会議の議長は、監督とする。

(学生役員会)

第36条 学生役員会は、主将、主務、会計、ブロック長、チーム代表、副主務、学年代表によって構成し、主将が議長をつとめる。

2 学生役員会は、本競技部の運営上の重要事項について協議する。

(その他の会議)

第37条 その他の会議については、別途細則で規定するものとする。

第6章 練習

(練習)

第38条 本競技部の練習は、短距離・ハードル、中距離、長距離、跳躍、投てきの5競技ブロックに分かれて実施する。

(練習計画)

第39条 ブロック長は、監督、コーチの指導のもとに練習を計画し、これを実施する。

(練習の参加)

第40条 部員は、合同練習、並びに合宿練習等に参加しなければならない。

ただし、参加不能の場合は、所定の様式により欠席届を提出し、ブロック長に承認を得なければならない。

2 ブロック長は、ブロック員の欠席届を主将に提出し、承認を得るものとする。

(練習に要する費用)

第41条 練習に要する費用は、原則として部員の自弁とする。

第7章 財務

(財務の構成)

第42条 本競技部の歳入は、次の通りとする。

(1) 部費

(2) 事業収入

- (3) 補助金等
- (4) 寄付金
- (5) 繰り越し金
- (6) その他

第43条 本競技部の歳出は、次の通りとする。

- (1) 総務費
- (2) 事業費
- (3) その他

(会計年度)

第44条 本競技部の会計年度は、毎年12月15日に始まり、
翌年12月14日に終る。

第8章 賞罰

(賞罰の対象、警告)

第45条 本競技部は、部員に対して次の賞罰をあたえることができる。

- (1) 本学学生、または陸上競技部員（日本学連に登録しているもの）として
名誉ある活動をした者に対して、これを表彰する。
- (2) 本学学生、または陸上競技部員としての名誉を棄損する行為をした者に対して、
これを除名する。
- (3) 部員にして、本規約に示された義務を履行しない時は、警告を発し、その後に
除名することがある。

2 賞罰は、役員会において決定する。

ただし、警告については、監督、主将の合意により、
監督が発することができる。

第9章 規約の改正

(規約の改正)

第46条 本規約の改正は、部員総会において、
出席部員の3分の2以上の同意を必要とする。

第10章 補則

(細則)

第47条 本規約の施行について、必要な事項に関する細則は、別に定める。

第48条 本競技部の設立年月日は、昭和62年6月28日とする。

第49条 本規約は、昭和62年6月29日より施行する。